

窓

【今年度の重点】

- 目標に向けてねばり強く取り組み、学ぶ価値を実感できる
- 基礎的な知識や技能を身につけ、調整力を発揮して活用できる
- 見通しを持って学び、考えを伝え合うことができる

キャリア教育 ～ 進路選択に向けた高校見学会（いなほ学級）

No. 17 2022. 6. 20

先週、いなほ学級の生徒13名が小樽高等支援学校を訪問してきました。今回は1年生から3年生までの13名全員での高校訪問となりました。この訪問の目的として以下の観点があげられます。

- ◎高校を見学することで、卒業後の進路について考える
- ◎社会での礼儀やマナーについて知り、これまでの生活態度や行動について考える 等

特に3年生にとっては来春に迫った進路選択。1・2年生とは違った思いでの参加となったようで、高校での説明や見学を通して小樽支援学校への進学を前向きに考える生徒もいたようです。

いなほ学級では6月上旬に東部小学校と北の台小学校との合同学習も行われています。小学生の児童と作業を行い中学生が丁寧に教えてあげる姿が見られました。いなほ学級の生徒は、小学生への指導を通して自分の成長を感じることができたようです。そして、今回の高校見学で将来の自分を考える機会を持つことができました。

「今までの自分を振り返り、将来の生活と関連付けながら今後の生活の見通しを持つ」ことは、まさにキャリア教育の重要なねらいとなります。自分の将来の姿を意識し主体的な学びにつなげてほしいと思いますし、私たち教職員も子どもたちの社会的・職業的な自立に向けた教育活動を今後も続けていきたいと思っています。



高校見学



合同学習

